

6. 名古屋圏の商業地

(前年変動率)

<p>愛知県</p>	<p>名古屋市は 3.1%上昇(1.7%上昇)。繁華性を維持する商業地では需要が堅調であり、また、生活利便性が良好な地域ではマンション素地需要も堅調なことから上昇基調を強めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東区は 5.3%上昇(3.6%上昇)。収益物件に対する需要が堅調で上昇基調を強めている。 中村区は 8.1%上昇(4.2%上昇)。名古屋駅周辺では複数の大規模な開発計画が進行中であり、希少性の高い優良物件に対する需要が強く、また、リニア新幹線計画による期待感も相まって上昇基調を強めている。 中区は 5.1%上昇(3.4%上昇)。桜通沿い、栄駅周辺、金山駅周辺等については、オフィス需要、店舗需要とともに比較的堅調で、特に優良物件に対する需要が強く上昇基調を強めている。 昭和区は 4.5%上昇(2.8%上昇)。店舗需要は比較的堅調で上昇基調を強めている。 <p>西三河地域は、地域経済が好調であり、飲食店等の需要は比較的堅調で上昇基調を続けている。しかし、刈谷市は 1.0%上昇(3.3%上昇)、安城市は 0.6%上昇(2.9%上昇)と上昇基調を弱めている。</p> <p>尾張地域は、繁華性を維持する商業地では店舗需要が一定程度見られるほか、地価に割安感が見られることもあり上昇基調となっている。</p>
<p>三重県</p>	<p>四日市市は 0.1%上昇(-0.7%)。近鉄四日市駅前では再開発に伴い繁華性が向上し、店舗需要が堅調となっている。また、近鉄百貨店がリニューアル(平成 25 年 3月)し、その周辺では飲食店の出店が見られる中、マンション素地需要も堅調で下落から上昇に転じた。</p> <p>桑名市 0.2%(-0.8%)。近鉄桑名駅周辺では希少性がある中、飲食店等の需要も見受けられ上昇した地点が現れるなど下落基調を弱めている。</p>

